



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2013.1.9 (No.2716) 週報 No.25

第2560地区ガバナー／鈴木重 壱  
会 長／杉 山 幸 英  
会長エレクト／丸 山 行 彦 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／高 橋 司 (クラブ奉仕B)  
幹 事／若 槻 八 十 彦  
S A A／西 山 徳 芳  
会 計／小 出 子 恵 出

例会日／毎週水曜日12:30～  
例会場及び事務局／  
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

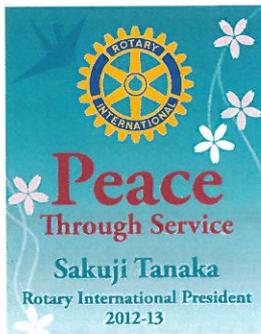
- 本日の出席会員数:56名中44名
- 先々週出席率:92.16%

【ゲスト】

・三條市長 國定勇人 様

【先週のメイクアップ】

[12.27] 三條東RCへ  
・齋藤弘文さん、 加藤紋次郎さん



「奉仕を通じて平和を」

2012～2013年度国際ロータリーのテーマ

「瓢湖の白鳥」



会 長 挨拶

杉山幸英 会長



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

本日は三條市長 國定様ようこそおいで下さいました。ごゆっくりくつろぎ下さいませ、後ほど会員皆が楽しみにしております卓話を宜しくお願い致します。

本日は新入会員の皆様方がおいでです。後ほどご紹介申し上げます。

会長の任期も本日より後期です。初心に帰って会長方針・目標に向けて進んで行きたいと思っておりますので皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

本日は行事が多いので挨拶を終わります。

# 幹事報告

## 若槻八十彦 幹事

- ◎地区ローターアクト委員会より  
「第3回地区行事『アクトスキー』登録のご案内」  
開催日 1月19日(土)～20日(日)  
場 所 妙高高原 池の平温泉スキー場
- ◎鈴木ガバナー事務所より  
「第2回米山奨学委員長セミナー開催のご案内」  
日 時 2月2日(土)  
受付・昼食 11:45～13:00/  
セミナー 13:00～16:00  
会 場 長岡グランドホテル 2階・悠久の間  
出席義務者 現・次年度米山奨学委員長  
または代理者
- ◎日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会実行委員会より  
「第24回 沖縄大会のご案内」  
開催日 3月18日(月)  
場 所 琉球ゴルフ倶楽部
- ◎地区青少年交換委員会より  
「青少年夏期交換派遣学生募集開始のご案内」  
派遣先 ドイツ  
派遣期間(予定) 2013年8月初旬出発  
受入期間(予定) 2013年7月中旬頃より3週間程
- ◎小千谷RCより  
「創立50周年記念誌」が届いております。

## ニコニコBOX

### 杉山幸英さん

明けましてお目出とう御座居ます。  
後半も初心に返って会長方針にそって行きたいと思しますので御協力をお願い致します。  
三条市長國定様、卓話有難う御座居ます。

### 高橋 司さん

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。

### 山田富義さん

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈り致します。  
三条市長國定勇人様、卓話ありがとうございます。

### 中林順一さん

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお祈り致します。  
國定市長様、卓話ありがとうございます。

### 五十嵐博宣さん

本年もよろしくお祈り致します。  
祖母の葬儀に際しまして年初めの忙しい中、ご会葬、ご弔電をいただき誠にありがとうございました。  
父共々御礼申し上げます。

### 荻根沢隆雄さん

新年明けましておめでとうございます。  
内山晃様、小林吾郎様の入会、心待ちに致しておりました。歓迎申し上げます。  
本日は國定三条市長様ありがとうございます。

### 熊倉昌平さん

三条市長國定勇人様を歓迎申し上げます。  
政界が混迷しておりますが、一層のご活躍を期待します。

### 佐野勝榮さん

明けましておめでとうございます。  
本日の卓話三条市長様、よろしくお祈り致します。  
又新会員内山さん、小林さんを歓迎します。

### 丸山行彦さん

明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって良い年でありますように。  
國定勇人市長様卓話ありがとうございます。  
新会員の内山さん、小林さんを歓迎します。

### 小出子恵出さん

明けましてお目出とう御座います。本年も皆様にお世話になります。  
元気の出る三条市になりますよう、國定市長様の御活躍を期待しています。

### 小越憲泰さん

あけましてお目出とう御座います。本年もよろしくお祈り致します。

### 平原信行さん

賀状いただきました。皆様ありがとうございます。  
國定市長様を歓迎して。

### 五十嵐晋三さん

新年おめでとうございます。本年よろしくお祈り致します。  
國定市長様卓話ありがとうございます。  
小林吾郎さん入会歓迎します。

### 斎藤弘文さん

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお祈り致します。  
國定市長様を歓迎致します。

### 五十嵐昭一さん

あけましておめでとうございます。今年もよろしく。市長様の卓話期待しております。

### 川瀬康裕さん

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。

### 関川 博さん

昨年まで挑戦前進がテーマだったので、今年は「充電」と言うと家内が、誰が電気をくれるの?とキビシイ始まりです。  
國定市長様卓話楽しみにしております。

### 小林敬典さん

あけましておめでとうございます。素晴らしい年になりますように。

明田川賢一さん

あけましておめでとうございます。

新入会員の内山さん、小林さん入会ありがとうございます。大歓迎です。楽しいですよ。

石橋育於さん

新年あけましておめでとう御座居ます。杉山年度後半もよろしくお祈りします。

本日は國定市長様の卓話ありがとうございます御座居ます。

樺山 仁さん

新年明けましてお目出度ございます。本年もよろしくお祈りします。

元氣な國定市長様の卓話に期待して。

渡辺 稔さん

エルニーニョの兆候があるので冷夏になりそうで、寒九関東に雨が降ると夏が暑くなりそうだと今朝のラジオ番組で聞きました。気になります。

菊池 渉さん

年末におそうじロボットが家族の一員に加わりました。彼はよく働きます。おかげで家内のテレビ時間が増えるばかりです。

中村和彦さん、 渡辺勝利さん、 大沼公成さん、

伊藤寛一さん

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

若槻八十彦さん、 外山雅也さん、 会田二郎さん、

歸山 肇さん、 浅野金治さん、 渡辺良一さん、

船越正夫さん、 木村文夫さん、 金子俊郎さん、

吉井直樹さん、 米山智哉さん、 成田秀雄さん

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

國定市長様、本日は卓話ありがとうございます。

1月9日分 ￥76,000  
今年度累計 ￥813,000

## 卓 話



三条市長 國定勇人様

皆様、改めまして新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

三条ロータリークラブ様におかれましては、毎年この1月の例会初日にお招きいただき誠にありがとうございます。そして、日頃の三条市政にまつわる話題につきまして、とにかく自由な題で話をしていいということで、ない知恵ではありますけれども、毎年毎年絞りながら三条市政についてお話を披歴させていただく機会を頂戴しておりますことも、重ねて感謝を申し上げたいと思っております。

また、日頃から三条ロータリークラブ様におかれましては、三条市政の発展のため、また地域社会の発展のためにさまざまなご貢献をいただいておりますことを重ね重ね感謝申し上げます。

とりわけ、3月11日の東日本大震災の発災以降もなく2年が経過しようとしておりますが、今もってなお苦しんでおられる被災地の方々、あるいは、三条に避難をされている方々のことを考えましても、皆様方の並々ならぬご尽力に対しまして重ねて感謝を申し上げつつも、この東日本大震災そもその自然災害の規模としても、千年に一度と言われる状況でもございますし、また、福島第一原子力発電所の事故をあわせ持った複合型の災害ということで、その復旧復興への道のりというものがより一層生半可な形ではいけないという中で、引き続きのご支援ご協力を賜ればと切にお願いを申し上げる次第でございます。

そんな願いから、昨年12月定例市議会で、震災廃棄物の広域受入につきまして本予算のご可決をいただき、いよいよ実行というタイミングの中で皆様方にお話をするのが適切ではないかと話題を振らせていただきましたが、その後に安倍新政権が誕生いたしましたして、その話も少しささせていただいた方がより、身近な話になっていくのかなと思いますので、震災廃棄物の広域受入の前に、私どもから見た今を巡る状況について、ご披歴をさせていただければと思っております。

ご案内のとおり、毎年このタイミングは、私ども三条市として、来年度の政策の玉磨きであったり、それに伴います予算編成というものをやっている最中でありまして。このとりまとめを終えて皆様方にお示しができるのはおよそ1ヶ月後ということで、今は一番三条市のことを申し上げにくい時期になっているのが実態でありまして、これに複合型要素として入ってきているのが、国のいわゆる13兆円とも言われている補正予算でございます。

私自身が12月26日に上京した時に、永田町や霞が

関などから色々な情報を得る機会がありましたので、そんなこぼれ話から申し上げますと、今回の自公政権の誕生で大きなキーワードの一つである、国土強靱化、これにかける思いは、並々ならぬものがあると強く感じたところであります。この国土強靱化というキーワードが引き出される発端はもちろん東日本大震災ですが、実は小泉政権以来自民党政権の時からずっと社会資本整備関係費というものは削減され続けていて、ここから維持補修の経費を考えると、すでにマイナス水準くらいに行き着いてしまっていると、2、3年前くらいからささやかれ続けており、これに対し適正化を図っていかうということが、安倍政権の新しい誕生によってようやく声を大にして言う事ができるようになったというのが、私が感じた大枠のものの見方でございます。そう考えますと、今回の13兆円の補正というのは一里塚にしか過ぎないものすごく感じました。

安倍政権が誕生したのは12月25日です。普通に考えると12月29日から1月3日までは年末年始のお休み、休眠状態に入るといって、仮に不眠不休で霞ヶ関が補正予算にかかわる玉磨きをしたとしても、これの閣議決定は1月15日になるわけです。実質的には国土交通省を始めとして予算要求官庁は、財務省に対して昨日すでに締め切りという形で補正予算のタマを出し切っている状態でありまして、事実上、その予算要求官庁に持たされた時間というのは10日くらいしかないという中で、どれだけその自公政権らしさを打ち出すタマを霞ヶ関が用意できるかという、ほぼ絶望的な状況に近いということで、とにかく公共事業を中心としてタマを出せということになっています。けれども、私たち市町村の目線から見ると、照会が来て締め切りまでの間、半日しかないと、それぐらいの状況の中でどうやって積み上げろということでありまして、そうすると13兆円というのは、真水をいくら積もうと思ったとしても、結果として見かけ予算としての要素が非常に強くなる。

もっと大変なのは、80兆、90兆を上回る平成25年度の政府一般会計当初予算であります。政権が変わったからということで、30日以内にまず13兆円の補正を15日に閣議決定します。そこからどんなスピード審議をしても、2月の上旬には本予算の閣議決定をしていかなければならなくなりますから、1月15日までの間、全速力で財務省は査定に入っていきます。それで1月15日に閣議決定する。その翌日から仮に当初予算の組み替えをやったとしても、ひと月ない。そうじゃないと、今度は本予算の国会における成立が長引いてしまい、成立が遅れてしまうということ。これは経済の足を引っ張ることになるので、必ずしも自公政権にとってはプラスの要素になりきらない。それは財務省も十分頭として持っていますので、今度の平成25年度当初予算はおそらく骨格予算的なものになるだろうというのが、財務省主計局の大方の見

方になっています。つまり、民主党が看板として打ち出していたものはとりあえず引いておいて、でもそれに変わるプラスの材料を練り上げるいとも無いまま、とりあえず平成25年度の予算を組まざるを得ないのではないかという状況になっている。

そうすると、我々地方自治体にとって、あるいは国の補助金を上手に活用しながら経済を回していこうと思われている多くの企業の皆様方にとって、13兆の補正に加えて次に何を狙っていくかということ、おそらく財務省の中で固まりつつある参議院選挙終了後の本格的な補正予算を、自公政権はものすごく意識をして仕立て上げてくるだろう。そこに対してどうやって照準を当てて三条として必要な投資の玉磨きをしながら、参議院選終了後までその事業を練り上げていくかということが、この1年間を展望したときにとっても大切な状況になってくるということでもあります。

財務省の方々とお話をしていく中で、彼らが今一番気にしているのは足元の安倍政権をどうしていくのかということではなく彼らからすれば大変な思いをしてようやく成し遂げることができた消費税引上げを何としてもやり抜かないといけないというのが、最大の目標になっているということでもあります。

ご案内のとおり、現下の経済状況を見据えた中で8%の消費税増税を見ていかなければいけない形になっておりますので、今年の秋口、それからその翌年の1月から3月期において経済状況はどうなっているのかということに対して、いかに有効な手立てを打っていけるかということが財務省にとって非常に大きなカギを握るということです。

もう一つ、財政政策をめぐる環境だけを申し上げますと、過去、非常に似通った状況がございました。麻生政権の時のリーマンショック直後の補正の形と今の形がすごく似ています。予算要求官庁の指示の出し方やそれに対する財務省のグリップの仕方、内閣府を中心としてそこをどうやって取りまとめているのか。総務省と内閣府がおそらく組んでくるであろう臨時交付金というものを彼らは仕立て上げようとしており、そのあたりの姿を見ていると、とりあえず当座、霞ヶ関の知っている手管として麻生政権の時の大型補正と全く同じものを今回の13兆円補正でコピーしておこうという状況になっています。

私が市長に就任させていただいてから6年、6回予算編成をさせていただいておりますけれども、中でも一番やりやすかったのは麻生政権の補正予算でした。地方自治体にとって、あれほどまでに使い勝手のいい補正予算はございませんでしたので、今回の13兆円補正の主力が麻生政権の時の補正予算のような形で仕上がってくると、これは三条市としても機動力のある補正予算を取り込んだ14か月予算程度のもので作ることができるのかなと思っております。

いずれにいたしましても、近年の逼迫した財政状況の中で、三条市としても、今回の安倍新政権にお

けます補正予算、それに続いていくであろう参院選後の大型補正という半ば既定路線につきましても、大いに期待をしたいと思っておりますし、そこを上手に汲み取りながら物事を進めていくことが、この一年間財政政策を運営していく三条市政を運営していく上では極めて重要なファクターになってくるのかなと思ひながら、これは私ども三条市役所だけの問題ではなく、恐らく民間企業さんにも陰に陽に直接的な財政支援の働きかけということも、私たち経由ではなくて国から直接、或いは県を通じて直接という形でまた皆様方に色々お声掛けがなされるのではないかと思います。

残り5分の中で震災廃棄物についてお話をさせていただきたいと思っております。この震災廃棄物をめぐっては、新潟県の行動というのは異常です。これは県内のマスメディアで言われているように、私自身を含める県内5市長と知事が対立しているからではないのです。震災廃棄物の広域受入というのは、我々県内にとってみたら何らメリットもある話ではなくて、本当に純粋な意味で「困った時はお互い様でしょ」と、千年に一度の大変な被害に遭われている方々に対して、彼ら自身が助けてほしい、自分達では処理し切ることのできない廃棄物が沢山あるので広域受入をしてほしいというふうに被災地が手を上げていることに対して、私どもが、そういうことであればということで手を差し伸べているというのが、まさにそれ以上でもそれ以下でもないのがこの取組だからであります。

岩手、宮城、福島、本当は茨城もそうですけれども、いわゆる東北被災3県を取り囲んでいる青森、秋田、山形、新潟、群馬、栃木、茨城があります。この中で、広域処理でまごついているのは新潟だけです。あとは震災廃棄物の広域受入を粛々とこなしている。しかも、100ベクレルという厳しい基準を設定しているのは新潟だけです。他は、国が定めた1キログラム当たり放射性セシウム濃度8,000ベクレルが主流なのです。それを80分の1にしてくれと手前勝手なことを申し上げてやろうとしているときに、それでもまだなお、それは違うのではないのと言いつつ、県内の中でごたごたが続いている。

これが、県内の中でごたごたが続いているというレベルで取まっていればまだよしとします。でも、これだけその情報通信が発達した世の中においては、あっという間に被災3県に情報は伝わります。岩手県に行ってしまうれば残念なことに新潟市、最終的には受け入れることになりましたけれども、一度あきらめるといようなことがあったあの日には、岩手県内には、そのニュースが駆け巡りました。それに伴って、新潟県のごたごたの状況が、改めて岩手県民の目にさらされることになりました。私たち新潟県というのは、本当にこんなんでいいのでしょうか。

新幹線の直轄負担金の問題で、どれだけ新潟県の信用力が長野、富山、石川、福井の4県の中で失墜し

ているのかを、皆さんご存じでしょうか。あの状況が出たときには、連日連夜、地元の地方紙は、新潟は何なんだということを、社説を通じて、あるいは記事を通じて書き立て続けました。そして今回は、そういう平穩無事な話ではなくて、ただでさえ非常にナーバスになっている被災された方に、追い打ちをかけるように新潟のごたごたの状況が被災3県を中心にニュースとして伝わっていくのが、本当に正義なんではないかということをお願いしなければいけないと思っております。

もし、身体に本当に影響があるということであれば、身体に影響があるということをもっと正々堂々と新潟県は環境省に対して主張するべきではないかと思ひますし、県内の廃棄物からでの1,000ベクレルを超える焼却灰を、今もなお地元の最終処分場に処理をし続けている環境の中で、なぜ100ベクレルだとだめなのかということに対して、どれほどの合理的な説明をもって新潟県がこの問題に対して臨もうとしているのか、少なくとも私には全く理解できないところでございます。

いずれにいたしましても、三条市におきましては、市議会議員の皆様の賢明なご判断をいただき、12月の定例会でこの廃棄物の緊急受け入れに係る本焼却の予算をお認めいただきました。今まさに、岩手県さんと11日から最終調整に入りまして、1月の下旬には搬入開始という作業手順になっていると思っておりますけれども、確かにミクロの目で見ると不安な気持ちがあるということはおわかりいただけますけれども、広く全体を考えてみたときに、いかに新潟県の対応が異常なまでの行動を起こしつつあるのかということも、もう一回さらな気持ちで、少し俯瞰する形で震災廃棄物の広域受入をめぐる状況について皆様方から再度ご認識をいただいて、また、ご理解ご協力を頂戴できればと思ひながらお話をさせていただきました。

平成25年幕を開けたばかりでございます。先ほどの財政政策を中心に今マスコミの中では少なからず明るい希望と展望が溢れる記事が続いているところでございまして、やはり景気は気ありますので、その前向きな気持ちを私どもが持ち合わせていくことが、三条市の輝かしい未来のために一番不可欠な要素でございます。この一年が皆様方にとりまして、また、各会員の皆様方が経営されております各企業におきまして素晴らしい一年になりますことを、そして、皆様方が日々鍛錬されておりますこの三条ロータリークラブさんがこの一年ますます繁栄の道をたどっていきますことを心から祈念を申し上げながら、講話とさせていただきたいと思ひます。本日はお招きをいただきまして誠にありがとうございました。

## < 新 会 員 紹 介 >



氏 名 内 山 晃  
会 社 名 (株)五十嵐プレイヤー  
役 職 名 代表取締役  
住 所 見附市坂井町1-4-3  
家 族 構 成 妻、一男一女  
趣 味 ゴルフ、釣り



氏 名 小 林 吾 郎  
会 社 名 (株)中央製版  
役 職 名 代表取締役  
住 所 三条市下大浦518  
家 族 構 成 妻、一男二女  
趣 味 読書、コンピュータ、麻雀

次週例会 1月23日 「外部卓話」 柏崎中央RC 鈴木公子様

次々週例会 1月30日 「外部卓話」 三条公証役場  
公証人 永井敏夫様

